



地域に学ぶ 介護の 技とところ

カイゴの風
プロジェクト

powered by
大阪人間科学大学
医療福祉学科 介護福祉専攻



Project カイゴの風

大学で受ける講義だけじゃない。

地域の人々のところに触れる学びが、介護の技とところを深める。

介護に優しさは必要です。しかし、それだけでは続けられません。介護される方はどんな性格で、何ができて、何ができなくて、どんな生活を望んでいるのか。これらをふまえた個人の状況に応じた介護が求められます。そのためには、根拠に基づいた介護の実践はもとより、相手を思う優しさや介護技術が必要。本専攻の独自プロジェクト「カイゴの風」は、数々の地域での福祉活動の機会を学生に提供しており、技とところを備えあわせた介護福祉士の養成に取り組んでいます。今回ご紹介している取組はほんの一部です。具体的な内容は、オープンキャンパス等で気軽に聞いてください。

医療福祉学科 介護福祉専攻 専攻主任/教授 武田卓也



I

地域のイベントに企画から参加

大山崎町（京都）での介護予防プログラムの企画・運営に参画しています。一人暮らしの方、高齢者の方を対象に、介護予防体操や認知症予防に役立つゲームの実施、介護保険制度の説明を行いました。摂津市（大阪）では、毎年行われる11月11日の介護の日イベントに参画しました。子どもからお年寄りまで楽しめる企画を考え、イベントを盛り上げています。

II

島留学で地域の福祉に触れる

沖縄・宮古島で住民の島生活に密着しながら介護福祉を学びました。年代を問わず人のつながりを大切にするとことや、地域の伝統や行事を重んじる島の文化は、日本の古き良き姿を感じることができます。離島の独自性に理解を深めながら、島の歴史学習や住民とのふれあい、在宅介護の視察を通じて、地域に根差した福祉の在り方を考えます。

III

地域活動としてカフェに参加

認知症の方や高齢者、介護者、地域の方が気軽に集まって、介護に関することを中心に話し合える交流カフェに参加しています。高齢の認知症の方から昔の話を聞いたり、歌やハーモニカ演奏で過ごす体験を通して、地域の住民が安心して暮らせる地域づくりを学んでいます。

IV

認知症の人と一緒に楽しむ

「認知症になっても仲間と共に走り続けたい」そんな思いからスタートした「RUN 伴」（らんとも）。認知症の人でもそうでない人も一緒に走って一本のタスキを北海道から沖縄までリレーでつなぎます。4回目の参加になる今年は大阪市内北区を認知症の人と一緒に走りました。認知症になっても楽しめることがたくさんあることを体感しました。

※プロジェクト内の取組内容は、変更の可能性があります。



学校法人 薫英学園

大阪人間科学大学

医療福祉学科 介護福祉専攻

〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1 TEL.06-6318-2020(入試広報センター) <https://www.ohs.ac.jp/>